

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
(その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。)
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (お問い合わせ先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店
なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 (フリーダイヤル)
0120-244-479 (証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>
- 公告方法 電子公告
当社ホームページ
(<http://www.shinsho.co.jp>) に掲載いたします。
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 1,000株

神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp>
最新の当社IR情報等をご覧ください。



KOBELCO
神戸製鋼グループ

つくる、むすぶ、ひらく。

株主・投資家のみなさまへ

第90期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

 **神鋼商事** 株式会社

〒550-8512 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号

電話 (0120)580-217

<http://www.shinsho.co.jp>



 **神鋼商事** 株式会社

証券コード：8075

【中長期的な経営戦略および目標とする経営指標】

当社グループは、平成18年度を初年度とする3カ年の「連結中期経営計画」の目標ビジョンである「メーカー商社としての基盤強化」、「事業環境に左右されない収益確保に向けた体制構築」の達成に向け、「チャレンジ10」を全社共通スローガンとして積極的に取り組んでおります。

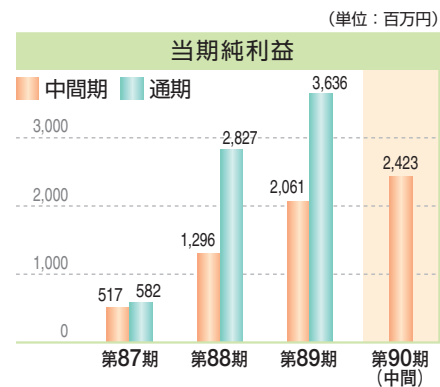
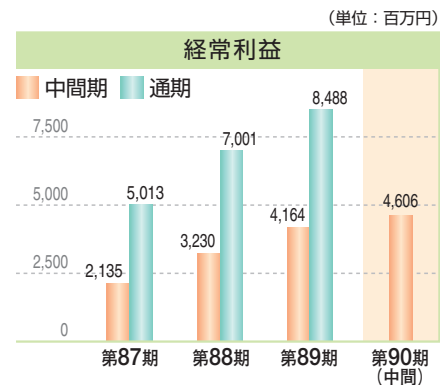
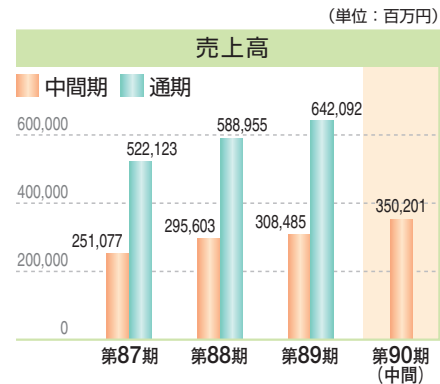
【基本方針】“チャレンジ10”

1. シェアアップ10
神戸製鋼グループにおける取扱いシェアの拡大
2. グロスプロフィットプラス10
海外ビジネス強化などによる売上総利益の増加
3. コストダウン10
業務効率向上による総経費の削減

C O N T E N T S

財務ハイライト(連結)	1
株主のみなさまへ	2
連結部門別概況	3・4
連結決算	5・6
単独決算	7
トピックス	8
株式の状況	9
役員/会社概要/事業所/連結子会社	10

財務ハイライト (連結)



株主のみなさまへ

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援とご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、第90期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、公共投資は総じて低調に推移しましたが、自動車、造船、産業機械等製造業を中心に高水準な企業収益が維持される中、民間設備投資は好調を維持し、また、雇用者所得が緩やかな増加を続けるもとで個人消費が底堅く推移しました。一方、輸出は米国経済の減速、為替の動向等の懸念はありましたが、中国を中心とするアジアの景気拡大を背景に概ね堅調に推移したことから景気は回復基調が続きました。

このような環境において当社グループは、鉄鋼セグメントを中心に、非鉄金属、機械・情報、溶材の各セグメントとも好調に推移する中、神戸製鋼グループにおける中核商社として国内外ビジネスを積極的に展開しました。また、中国蘇州市に設立したアルミコイルセンター「蘇州神商金属有限公司」が稼働を開始するなど、主にアジアを中心にグローバルな展開を積極的に推し進めました。一方、コスト競争力強化のため販売系システムの改善を進めるなど業務効率化をはかるとともに、管理面の更なる充実にも努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は350,201百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は4,548百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益は4,606百万円（前年同期比10.6%増）、中間純利益は2,423百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、所期の業績を達成いたしましたので、予定通り1株につき3円50銭とし、お支払い開始日を12月3日とさせていただきます。なお、1株当たりの年間配当金は7円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月



代表取締役社長
森脇 亞人

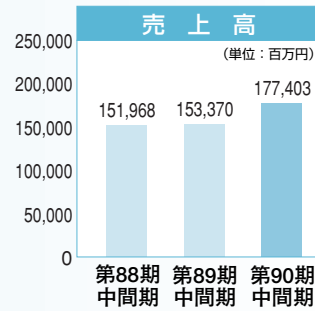
連結部門別概況

鉄鋼セグメント

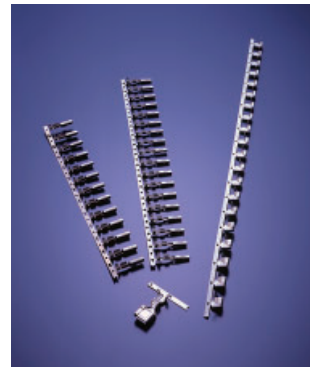


鉄鋼製品は、需給タイトのため熱延鋼板等の汎用品の取扱いは減少しましたが、線材は自動車業界向けの需要が堅調に推移したことにより、取扱量、売上高ともに増加しました。さらに建設分野向けを中心として棒鋼も堅調に推移するとともに、チタン、ステンレス製品も製品価格の上昇により売上高は増加しました。また、鉄鋼原料は、石炭の取扱いの増加や鉄スクラップの価格が高騰したことにより売上高は増加しました。

これらにより、鉄鋼セグメントの売上高は177,403百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は2,192百万円（前年同期比18.3%増）となりました。



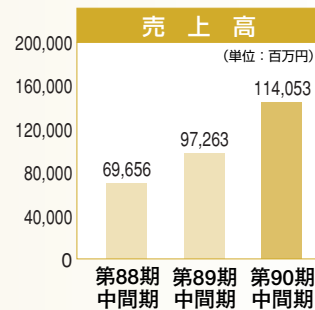
非鉄金属セグメント



銅製品は、半導体素材向けの板条や空調向け銅管は取扱量が増加するとともに、銅地金価格の高騰により売上高は増加しましたが、前年同期に比べて在庫販売益が減少したことにより営業利益は減少しました。

また、アルミ製品は、電気、印刷板向け板条の取扱いは増加しましたが、自動車、車両、船舶向け等アルミ押出材の取扱いが減少したことにより売上高は微減となりました。一方、非鉄原料はアルミ系原料の取扱いが増加したことにより売上高が増加しました。

これらにより、非鉄金属セグメントの売上高は114,053百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は1,246百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

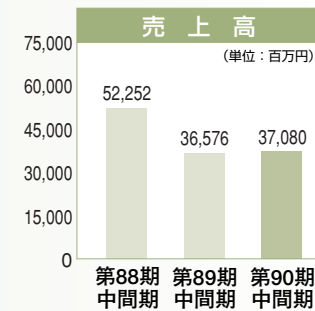


機械・情報セグメント



機械製品は、鉄鋼業界が引続き高水準の操業をしたことにより機械設備や資材の取扱いが増加し、加えて化学業界向けの販売が堅調に推移したことにより売上高は増加しました。一方、情報産業関連商品は、タッチパネル関連の取扱いは増加しましたが、液晶用電子材料やハードディスク関連装置の取扱いが減少したことにより売上高は減少しました。

これらにより、機械・情報セグメントの売上高は37,080百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は711百万円（前年同期比81.6%増）となりました。

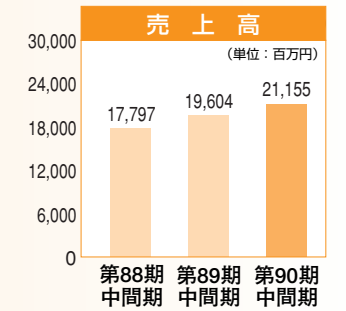


溶材セグメント



主要需要家である造船、建設機械、産業機械の各業界の好調な生産に支えられ、溶接材料、生産材料の取扱いが増加しました。輸出に関しては化工機プラント業界のプロジェクト案件が増加したことにより、海外エネルギー関連向け高付加価値溶接材料の取扱いが増加しました。

これらにより、溶材セグメントの売上高は21,155百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は326百万円（前年同期比45.0%増）となりました。

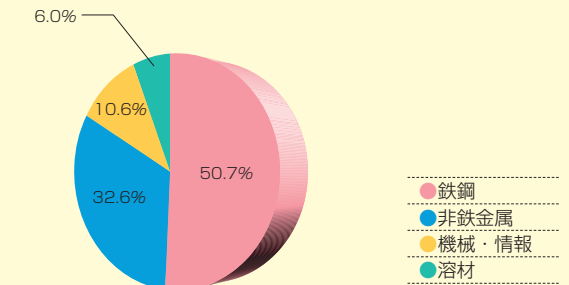


連結部門別売上高の構成

(単位：百万円)

セグメント	第90期中間期	第89期中間期
鉄鋼	177,403	153,370
非鉄金属	114,053	97,263
機械・情報	37,080	36,576
溶材	21,155	19,604
その他	524	1,746
(消去または全社)	△ 15	△ 75
合計	350,201	308,485

連結

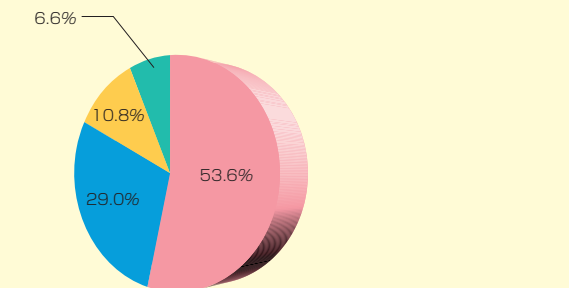


単独部門別売上高の構成

(単位：百万円)

セグメント	第90期中間期	第89期中間期
鉄鋼	169,126	146,250
非鉄金属	91,333	80,850
機械・情報	33,952	32,923
溶材	20,780	19,531
その他	88	1,019
合計	315,280	280,575

単独



連結決算

中間貸借対照表(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第90期中間期 平成19年9月30日現在	第89期中間期 平成19年3月31日現在
資産の部		
流動資産	205,034	194,926
現金および預金	7,772	5,154
受取手形および売掛金	167,182	162,876
たな卸資産	22,754	20,898
その他	7,325	5,997
固定資産	26,627	29,338
有形固定資産	6,421	7,747
無形固定資産	735	794
投資その他の資産	19,470	20,795
資産合計	231,661	224,265
負債の部		
流動負債	195,702	190,779
支払手形および買掛金	156,070	152,361
その他	39,631	38,417
固定負債	14,257	13,961
負債合計	209,959	204,740
純資産の部		
株主資本	17,684	15,886
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	9,345	7,546
自己株式	△ 14	△ 14
評価・換算差額等	2,123	1,824
少数株主持分	1,894	1,813
純資産合計	21,702	19,524
負債および純資産合計	231,661	224,265

中間損益計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第90期中間期 平成19年4月1日～平成19年9月30日	第89期中間期 平成18年4月1日～平成18年9月30日
売上高	350,201	308,485
売上原価	338,346	297,272
売上総利益	11,855	11,212
販売費および一般管理費	7,306	7,012
営業利益	4,548	4,200
営業外収益	912	601
営業外費用	855	637
経常利益	4,606	4,164
特別利益	25	83
特別損失	365	722
税金等調整前中間純利益	4,266	3,525
法人税・住民税および事業税	1,461	1,805
法人税等調整額	336	△ 432
少数株主利益	45	91
中間純利益	2,423	2,061

中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第90期中間期 平成19年4月1日～平成19年9月30日	第89期中間期 平成18年4月1日～平成18年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,512	6,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,300	△ 744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 761	△ 3,532
現金および現金同等物に係る換算差額	195	6
現金および現金同等物の増減額	2,247	2,013
現金および現金同等物の期首残高	5,153	4,840
新規連結による現金および現金同等物の増加額	369	33
現金および現金同等物の中間期末残高	7,770	6,887

中間株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評価 差額 金	繰延ヘッ ジ 損 益	為替換 算 勘定 調整	評価・換 算 差額等 合計		
平成19年3月31日 残高	5,650	2,703	7,546	△ 14	15,886	2,529	55	△ 759	1,824	1,813	19,524
中間連結会計期間中の変動額											
連結除外による剰余金の減少			△ 4		△ 4						△ 4
剰余金の配当			△ 620		△ 620						△ 620
中間純利益			2,423		2,423						2,423
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の中間連 結会計期間中の変動額(純額)						△ 123	△ 36	459	299	80	379
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,798	△ 0	1,798	△ 123	△ 36	459	299	80	2,178
平成19年9月30日 残高	5,650	2,703	9,345	△ 14	17,684	2,405	18	△ 300	2,123	1,894	21,702

単独決算

中間貸借対照表(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位:百万円)	
	第90期中間期 平成19年9月30日現在	第89期 平成19年3月31日現在
資産の部		
流動資産	180,587	172,488
現金および預金	4,289	2,705
受取手形	15,330	13,406
売掛金	140,611	137,539
その他	20,355	18,835
固定資産	28,958	31,015
有形固定資産	1,845	1,902
無形固定資産	625	689
投資その他の資産	26,487	28,423
資産合計	209,546	203,503
負債の部		
流動負債	178,950	174,807
支払手形	11,287	13,031
買掛金	132,673	127,044
その他	34,989	34,732
固定負債	13,569	13,067
負債合計	192,519	187,875
純資産の部		
株主資本	14,616	13,061
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	6,268	4,713
自己株式	△6	△5
評価・換算差額等	2,410	2,567
純資産合計	17,026	15,628
負債および純資産合計	209,546	203,503

中間損益計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位:百万円)	
	第90期中間期 平成19年4月1日~平成19年9月30日	第89期中間期 平成18年4月1日~平成18年9月30日
売上高	315,280	280,575
売上原価	306,725	272,362
売上総利益	8,555	8,213
販売費および一般管理費	5,037	5,037
営業利益	3,518	3,176
営業外収益	801	591
営業外費用	714	505
経常利益	3,605	3,261
特別利益	49	83
特別損失	—	615
税引前中間純利益	3,655	2,729
法人税等	1,150	1,542
法人税等調整額	329	△411
中間純利益	2,175	1,598

中間株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(百万円未満切り捨て)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
平成19年3月31日 残高	5,650	2,703	2,703	4,713	4,713	△5	13,061	2,512	55	2,567	15,628
中間会計期間中の変動額											
剰余金の配当				△620	△620		△620				△620
中間純利益				2,175	2,175		2,175				2,175
自己株式の取得						△0	△0				△0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)								△119	△36	△156	△156
当中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	1,555	1,555	△0	1,554	△119	△36	△156	1,398
平成19年9月30日 残高	5,650	2,703	2,703	6,268	6,268	△6	14,616	2,392	18	2,410	17,026

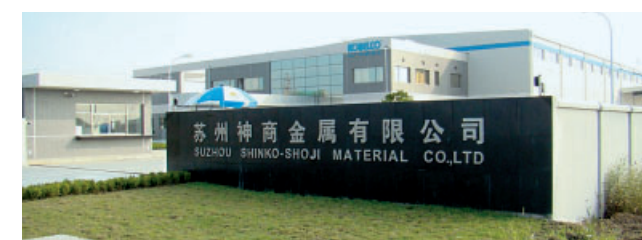
トピックス

アルミコイルセンター「蘇州神商金属有限公司」が稼働を開始

蘇州神商金属有限公司は中国では初めてとなるアルミ板条の切断加工を専門とするコイルセンターです。

中国のIT産業ならびに自動車産業は海外からの積極投資と中国の地場企業による技術革新により、目覚ましい発展を遂げ、アルミ板条の需要はここ数年の間に著しく増加し、また、そのニーズも多様化しております。

蘇州神商金属有限公司は、株式会社神戸製鋼所が長年培って



きた技術を応用し、高品質の維持をモットーにマーケットの開拓に取り組みます。また、神鋼商事の商社活動により蓄えた豊富な知識と情報を駆使し、お客さまの多様なニーズにお応えいたします。

会社概要

商号	蘇州神商金属有限公司
代表者	董事長 小林 清文(当社執行役員 非鉄金属本部副本部長)
所在地	中華人民共和国江蘇省蘇州市
設立	2006年7月
営業開始	2007年10月
事業内容	アルミ圧延材のスリット、シャーリング加工販売
資本金	512万米ドル
出資比率	当社100%
従業員数	約40名

スクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」の発売開始について

神鋼商事は、神戸製鋼グループの中核商社として、神戸製鋼グループが培ってきた信頼と実績を最大限に生かしながら、メーカーと一体となって商品を作り上げる、メーカー商社ならではの提案型ビジネスを追求してきました。

そうした活動の中で、神鋼商事は各製造工場で広く動力源や加熱源として利用されている蒸気の有効利用に着目し、特に小規模蒸気ラインの省エネに適した装置を提供すべく、市販の米国製蒸気タービンと国産発電機を組み合わせた小型タービン式蒸気発電装置の販売に取り組んできました。

このタービン式蒸気発電機は、これまで一定の販売実績を上げてきましたが、低圧・少量の蒸気エネルギー有効利用拡大のためには、より一層発電効率の高い装置の開発が不可欠との認識から、世界トップレベルのスクリュ技術を持つ神戸製鋼所と蒸気スペシャリストであるティエルバイ両社の連携・協力をコーディネートする形でスクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」の開発に共同参画し、市場調査、マーケティングを担当してきました。

このたび販売を開始した100kW級スクリュ式小型蒸気発電

機「M.S.E.G.」は、これまで効率的なエネルギー回収が困難とされていた少量・低圧領域の蒸気の有効利用に画期的なソリューションを提供する設備であり、CO₂排出量削減に直接寄与できる、優れた省エネルギー設備として、新たな市場を切り開く商品になるものと大いに期待されます。

神鋼商事は、この「M.S.E.G.」の販売統括を担当し、神戸製鋼グループおよびティエルバイの販売網を結集して販売活動を推進します。また、マーケティング・販売活動を通じて、ユーザーニーズを的確につかみ、各パートナーとの連携を深めて、「M.S.E.G.」の事業拡大に結びつけていきたいと考えています。



株式の状況

(平成19年9月30日現在)

●株式の概況

発行可能株式総数 270,000,000株

発行済株式の総数 88,581,630株
(自己株式 23,995株を除く)

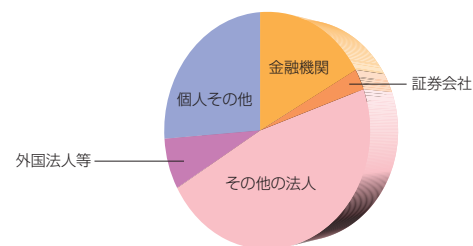
株主数 5,630名

●大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)	株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	30,853	34.83	神鋼電機株式会社	1,500	1.69
神商取引先持株会	4,104	4.63	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,069	1.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,183	2.47	日本生命保険相互会社	1,067	1.20
株式会社三井住友銀行	2,068	2.33	メルガスタレーアンドカンパニー・インク	854	0.96
日本スタートラスト信託銀行株式会社	1,639	1.85	三洋電機株式会社	825	0.93

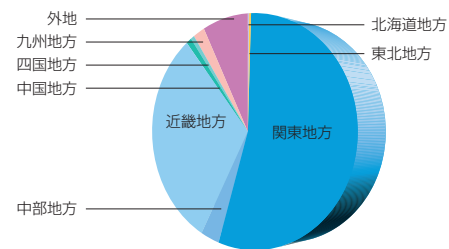
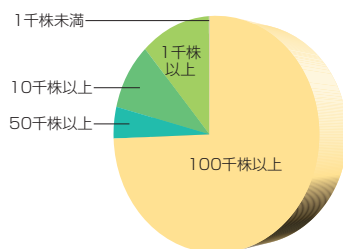
(注) 1. 持株数は、退職給付信託に提出している株式数を含んでおります。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況



【所有株数別】

所有株数別	名	千株	%
100千株以上	78	65,899	74.4
50千株以上	61	4,053	4.6
10千株以上	492	8,559	9.6
1千株以上	4,690	10,046	11.3
1千株未満	309	46	0.1
合計	5,630	88,605	100.0



【地域別】

地域別	名	千株	%
北海道地方	73	226	0.2
東北地方	87	311	0.3
関東地方	1,843	47,995	54.2
中部地方	792	2,632	3.0
近畿地方	2,057	28,051	31.6
中国地方	275	766	0.9
四国地方	157	509	0.6
九州地方	274	1,656	1.9
外地	72	6,457	7.3
合計	5,630	88,605	100.0

役員 (平成19年9月30日現在)

【取締役および監査役】

代表取締役社長	森 脇 亞 人
代表取締役	中 安 悠
代表取締役	原 三 郎
代表取締役	廣 瀬 範 義
取締役	廣 田 邦 彦
取締役	高 橋 伸
監査役 (常勤)	津 川 邦 夫
監査役 (常勤)	中 村 三 二
監査役	木 村 敏 夫
監査役	平 野 重 蔵

(注) 監査役 木村敏夫氏は、死亡により平成19年11月1日退任となり、補欠監査役の山本浩司氏が、同日付で監査役に就任いたしました。

【執行役員】

※ 社 長	森 脇 亞 人
※ 専務執行役員	中 安 悠
※ 専務執行役員	原 三 郎
※ 専務執行役員	廣 瀬 範 義
専務執行役員	中 塚 隆 次
※ 常務執行役員	廣 田 邦 彦
常務執行役員	名 波 正 夫
常務執行役員	小 村 信 綱
※ 常務執行役員	高 橋 伸
常務執行役員	永 井 庸 晴
常務執行役員	松 本 博 明
常務執行役員	笹 川 浩 史
執行役員	佐 藤 育 夫
執行役員	新 藤 和 敏
執行役員	小 林 清 文
執行役員	大 西 健 司

(注) 上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

会社概要

設 立 昭和21年11月12日
発行済株式総数 88,605,625株
資 本 金 5,650,281,250円
主要取扱品目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材

事業所

- 大阪本社 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号
- 東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2番5号
- 名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号
- 九州支社 福岡市博多区博多駅中央街1番1号
- 神戸支社 神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号
- 支 店 中国(広島)、静岡、北陸(富山)、東北(仙台)、札幌
- 出張所 熊本、長府、徳山、加古川、岐阜、群馬



- 海外事業所 シドニー、ブタペスト、ジャカルタ、北京
- 海外現地法人 シドニー、ロスアンゼルス、デトロイト、コネチカット、バンコク、レムチャパン、アユタヤ、アマタ、クアラ Lumpur、シンガポール、上海、蘇州、台北、マニラ、ソウル

連結子会社

国内関係会社	海外現地法人	Shinsho Shoji Singapore Pte. Ltd.
神商鉄鋼販売(株)	Shinsho American Corporation	Shinsho Korea Co., Ltd.
神商非鉄(株)	Grand Blanc Processing L.L.C.	Shinsho (Philippines) Corporation
アジア化工(株)	Seymour Wire, Inc.	Taiwan Shinsho Corporation
フェアチャイルド・シンショウ・セミコン(株)	Shinsho Australia Pty. Ltd.	Shinsho (Malaysia) Sdn. Bhd.
神商電子部品(株)	Kobelco Trading (Shanghai) Co., Ltd.	
神商コウベウエルディング(株)	Shanghai Shinsho Trading Co., Ltd.	
神商開発(株)	Thai Escorp Ltd.	
神商ビジネスサポート(株)	TES E&M Service Co., Ltd.	